

進路だより

第2号 R4.5.11 発行

宇都宮市立横川中学校 進路指導部

文責 杉山 桜

新緑の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育にご理解とご協力を賜わり、誠にありがとうございます。今回は、中学校卒業後の進路と主な高校入試のシステムについてお知らせします。

中学校卒業後の進路と高校入試の主なシステム

中学校3年生になると、中学校卒業後の進路を自分自身の問題として受け止め、保護者などと相談しながら、自分の意志と責任で選択しなければなりません。卒業後はそれぞれが決めた道を歩いていくことになりますが、後で悔いの残らないように、自分の進路についてしっかりと考えてほしいと思います。（裏面参照）



生徒の皆さんが充実した中学校生活を過ごし、それぞれが希望する進路に進むためには「進路や受験は3年生から」ではなく、「1年生から」という考えが大切です。しっかりとした基本的生活習慣を身に付けることを重視し、目標に向かって日々努力を継続してほしいと思います。

【高校入試のシステムの概要】

県立高校編	私立高校編
○一般選抜入試 学力検査(国・社・数・理・英)の得点と調査書。調査書の「各教科の学習の記録」の評定は点数化する。調査書と学力検査の成績、面接及び実技検査を行った場合はその結果等を資料として、総合的に入学者の選抜を行う。	○一般入試 学力検査の得点と調査書。マークシート式で行う高校もある。第1回入試(1月前半)と第2回入試(1月後半～2月前半)を実施する高校もある。県内の私立高校はほとんどがインターネット出願となっている。
☆特色選抜入試 調査書、志願理由書、面接、各学校がその特色に応じて実施する作文や小論文、学校独自検査などの結果等を選抜の資料とする。一般入試よりも、倍率が高くなる傾向がある。※「 <u>出願するための資格要件</u> 」を参照。	☆推薦入試 調査書と面接。(推薦の種類によっては学力検査や作文、実技検査などを課すケースもある)学校長の推薦が必要。

※『栃木県立高等学校全日制課程入学者選抜における「学校教育目標」「目指す学校像」「募集する生徒像」及び特色選抜における「定員の割合」「出願するための資格要件」「選抜の方法」「その他、特記事項」「選抜の手順等」について』

例年6～7月に栃木県教育委員会ホームページに掲載されます。

【栃木県ホーム> 教育・文化> 学校教育> 入学選考・選抜> 令和5(2023)年度県立高等学校入学者選抜に関するお知らせ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/m04/r03/r05nyushinittei2.html>】